

問題点など議論

門別地区 経営効率化検討会で

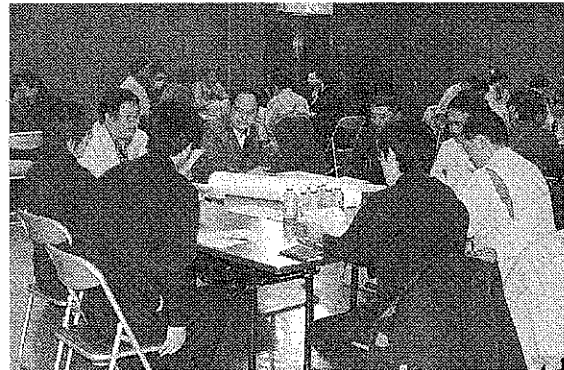
【苫小牧】建設業の経営効率化に向け、発注者と受注者双方の現場最前線担当者ら問題点、解決方法などについて意見を交換する門別地区の経営効率化検討会

が12日、門別町中央公民館で開かれ、事業の円滑な執行に向け活発な提案、検討が行われた。

同検討会は室蘭土現経営効率化協議会の活動の一環として行われたもので、昨年11月の同土現登別出張所管内に続き2回目の実施。年度内に各出張所単位で実施される予定となっている。

門別出張所（静内総合治水事務所）管内で行われた検討会には、各出張所の監督員らと同出張所所管事業の受注企業担当者を合わせて40人余りが出席。開催に先立ち福田昇門別出張所長があいさつに立ち、検討会の目的、内容などを説明した上で、「効率化を目指し、現場の問題点などの意見を出し合い、全体会議で解決に向けた方向性を打ち出してほしい」と要請した。

検討会では、行政側と業



界側それぞれ4人の計8人を一班とする5グループに分かれ効率化を阻害する問題点の抽出、解決手法について意見を交換。各グループ

経営効率化に向けさまざまな意見を交換した

からは設計変更時の手続きのスピードアップ、電子納品規格の簡素化、現場代理人と監督員とのスキルアップなどについての意見が出され、グループそれぞれで問題点、提案をまとめ全体会議で発表。続いて、全体での意見交換を行い、協議会への提案事項等をまとめた。